

はぐくむF U J I 少子化対策プラン（案）のパブリック・コメントに対する意見及び回答案

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	P49一番下の行 「ひとり親世帯の自立を促し…」 ひとり親は、それぞれにハンディを抱えながらも必死に生活をしている。「促す」という言葉は、「早く物事をするように急がす。催促する。そうするように勧める」という意味を持ち、ひとり親に寄り添う言葉ではなく上から目線の言葉である。「促し」を「支援し」「支え」などの言葉に代えてほしい。	「促し」を「支え」に変更いたします。	反映する
2	P68 「ファミリーサポートセンター利用料助成制度」が、「現在実施している事業」と「今後実施したい取り組み」に載っている。	「今後、実施したい取組」にファミリーサポートセンター利用料助成事業を掲載しておりますが、これは、今後、利用料助成の拡充を図りたいという考えに基づくものです。支援を拡充することが分かるような表記に改めます。	反映する
3	富士市では、少子化問題を含めて全体の問題として、若い女性の流出が最も重要な問題です。私は20代の若いとき、母から「富士市は保守的であなたのように男女平等の考えを自然にもつ人は暮らしにくいから、結婚でここに住まない方がいい。」と言われました。それが40年近く富士市では続いていることを、若い女性の人口減少で変わっていないことを痛感しました。 少子化問題の根本に、富士市を含めた日本全体が男女平等の社会ではないことにあると思うので、そのことから少子化対策を考え直した方がよい対策ができると考えます。	本市における若い女性の人口減少につきましては、様々な社会的な要因があると分析しております。少子化の克服に当たっては、だれもが暮らしやすく、男性も女性も家事・育児・仕事を分かち合う男女共同参画社会の実現が大切であると考えております。	既に盛り込み済み
4	●富士市内での人や社会のつながり、情報共有 少子化の背景には、個々の結婚や出産、社会的要因が絡むのがわかって来ている中で、行政の内部でも縦のつながり(福祉子ども部・子ども未来課だけでなく)で補えない部分や、必要な課や部署とのつながりをしっかりと、情報共有や協働で作業できるとより、多くのアクションや市民に発信が出来ると感じています。 ぜひ、他の部門や部署・まちづくりセンター・地域などとの連携をお願いしたいです。 その上で児童福祉施設・学校・企業・市民活動団体地域との平等な連携をとりつつ家庭や地域と連携しながら少子化プランを計画して実行して子供達の笑顔の未来の為にプランの実行して頂きたいと強く願います。	本プラン案の第5章「プランの推進体制」では、庁内の組織が一丸となって少子化対策を実行するため、少子化対策に関する取組を行う関係課で構成する少子化対策庁内検討会議を設置し、少子化対策に係る施策・取組の企画立案・調整を行いながら、横断的に施策を展開するとしています。 行政はもとより、家庭、地域社会、市民活動団体、企業等のすべての主体が、それぞれの役割を果たしながら相互に連携し、社会全体で取組を推進することが重要であると考えております。	既に盛り込み済み
5	はぐくむF U J I 少子化対策プラン（案）p58 若い世代の移住・定住支援の「三世同居や親世帯との近居の人を対象とした、補助金制度の創設について検討し、実施する。」とあるが、金銭面以外に保育施設への優先入所などハード面でもフォローしたほうが良い。現在、祖父母が同居している場合、入所が後回しにされている。年金受給の高齢化に伴い、勤労している祖父母も多く、実際は母親の保育負担が多いため、働きに出れないことが見受けられるため。	保育所への入所につきましては、施策の柱である「安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」のうち、「安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備」に位置付け、入園を希望しながら入園待ちとなっている児童、いわゆる「待機児童」ゼロを継続してまいります。	既に盛り込み済み
6	P63 「子育て支援団体ネットワーク構築事業」はH30～R2年度までの市民協働事業であり、本プラン開始の令和3年4月には市民団体に委ねられ子ども未来課では扱わない事業である。ここに「現在実施している事業」として掲載するにはふさわしくない。	子育て支援団体ネットワーク構築事業につきましては、令和3年度においても子ども未来課で実施する予定であることから、本プラン案通りの掲載といたします。	既に盛り込み済み

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
7	<p>●本当の意味での男女参画都市になる 富士市が男女参画都市宣言をする数年前から現在まで、子育てママとして、きり交流会議や男女参画課を通して関わらせていただきましたが、会社や事業所、家庭の中でも男女参画の考え方が、まだまだ促進できておらず、家事や子育て、雑用は女性が行い、男性は手伝う、指示する、という価値観で、共に共感し尊重し合う社会へと変化ができていない。この考えは、それぞれの地域や家庭・子育てに関してもでもまだ根深く感じます。地域での男女参画推進や未来を考えて、今のママパパや学童期からの楽しく促進学習が必要。妊娠・出産する夫婦や、結婚した後の夫婦に対して、親なる講座(昨年男女共同参画課と共に開催した講座)などの、パパ・ママ同時に心やサポートの親になる学びの場の提供や、企業に向けての妊娠後のサポート学習会など、ママ達の構成する市民活動団体などのコラボも考えて、より女性達の生の声を取り入れていただきたいです。(産後クライシスの予防と軽減を図り、第二子や妊娠する事の不安や心配を取り除く)未婚や晩婚も上記の事柄から、結婚して家族や子どもを授かる事への幸せより、自分達の自由や生活水準を維持する方へとシフトしてしまうのではないのでしょうか?なるべく生活価値観のあう人の出会いの場の提供他市で取り入れているAIお見合いシステム導入で互いにあう価値観を見つけるのも良いかと感じます。未婚者・夫婦共に・パパママ共に家事育児の簡単時短な料理教室や楽家事のコツ教室などの継続した開催。未婚者は、出会いの場。 夫婦は、互いのできる事を見つけて、サポートしあうパパママは、共に家事を考えるなど金銭面だけでなく学びや他の夫婦や家族との交流する場の提供で、男女参画推進を促進させるのも、お互いの生活理解しながら結婚へ進めるきっかけにいいかもしれません。この開催には企業・子育てで市民活動団体や地域・シルバー世代も共に協働して運営すれば、社会がより互いに理解し認め合えると感じます。</p>	<p>少子化の克服に当たっては、男女共同参画の視点が家庭や地域、企業、行政などあらゆる場面において大切にされ、共通理解のもとに諸取組を推進することが重要であると考えております。 固定的な性別役割分担意識をなくし、誰もが家事・育児・仕事等で分かち合い、サポートし合える男女共同参画社会が求められます。また、これらの取組の実施に当たりましては、ご指摘のとおり行政だけでなく、企業、子育て支援団体、地域、シルバー世代との協働が大事であると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の少子化対策に関する取組立案の参考とさせていただきます。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
8	<p>以前、産婦人科の開業に補助という大胆な政策が、当地の産科医療に大きなインパクトを与えました。鈴木市長の英断に感謝です。今後も産科医療機関が減らないような支援は必要かと思えます。</p>	<p>出産や子どもの病気に対する医療体制の整備は大切であると考えております。本プランでは「安心して妊娠・出産、育児ができる環境整備」として、安心して出産ができるよう、関係機関との連携を強化してまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
9	<p>各市横並びではインパクトがありません。3人目以降お子さんが生まれた場合にはそのたびに大胆な援助、例えば給付型か保険料や年金額の軽減など「この市は大胆」な政策、多くの子どもの持つことが市も歓迎しているという政策、アピールが必要ではないでしょうか。お子さんがいない家庭の不公平感ですが、その方が老後、障がいをお持ちになられたとき誰に助けをもらうのか、答えは自明かと思えます。</p>	<p>本プランでは、めざすべき将来像である「若い世代が結婚、妊娠・出産、子育ての希望が実現でき、すべての人がいきいきと安心して子どもを生み育てることができるまち ふじ」の実現に向けて、「現在、実施している事業」と「今後、実施したい取組」を推進するとしています。市民の皆様にご納得と満足をしていただける公平公正なサービスの提供に努めてまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
10	<p>少子化対策プランとして「婚活事業」を掲げるのはいかがなものか。</p> <p>少子化対策としての「婚活事業」は、結婚＝出産が前提になるが、有配偶出生率が低い富士市の現況から、結婚＝出産の方程式は成り立たない。少子化対策としての婚活を推し進めることは、結婚しても出産できない人や望まない人・ひとり親家庭を暗に否定するメッセージとなってしまうことが懸念される。多様性を認める社会の流れに逆行しているような感じだ。</p> <p>それよりも、子どもを望む人や、2人目3人目を望む家族などにダイレクトに支援した方が少子化対策の効果は得られやすいと思う。</p>	<p>若い世代が家庭や子育てに夢を持ち、次代を担う子どもを、その希望に応じて安心して生み育てることができる環境づくりを社会全体で取り組むことが、本市の推進する少子化対策であると考えております。</p> <p>少子化に歯止めをかけるための取組の1つとして、出会い、結婚、妊娠、出産、子育ての各ステージにおいて、必要とする方に適切なタイミングで切れ目のない支援を政策的に行うことが大切であります。</p> <p>出会い、結婚期のステージにおける支援につきましては、富士市男女共同参画条例の理念の1つであります「男女が互いの理解の下で、妊娠、出産その他健康に関してそれぞれの意思が尊重される」という理念に基づき、希望する方に適切な支援を提供することであるとと考えております。</p> <p>また、出会い、結婚期のステージにおける支援は、理想のパートナーとの出会いや結婚を望む市民の希望を叶えるための個別の支援であると位置付けており、それ以降の個人の行動や判断に立ち入ろうとするものではありません。</p> <p>結婚等のパートナー探しは、個人の自由な意思に基づくものであり、個人の決定に特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることのないよう十分留意する必要があると考えております。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
11	<p>婚活事業の担当課について</p> <p>婚活事業をこども未来課が担当していますが、結婚の本質はこどもを産むことではないと考えます。</p> <p>結婚を望む独身男女を子を産む対象としてみならず前に、人として尊重できる市であってほしいです。</p> <p>もし婚活事業を行うのであれば、担当課を多文化・男女共同参画課に変更してください。</p> <p>県がこども未来局で事業化していることは理由にはなりません。実際、別の課が担当している市があります。</p> <p>男女共同参画都市宣言をした市として、担当課の変更を期待します。</p>	<p>少子化に歯止めをかけるための取組の1つとして、出会い、結婚、妊娠、出産、子育ての各ステージにおいて、必要とする方に適切なタイミングで切れ目のない支援を政策的に行うことが大切であります。</p> <p>出会い、結婚期のステージにおける支援につきましては、富士市男女共同参画条例の理念の1つであります「男女が互いの理解の下で、妊娠、出産その他健康に関してそれぞれの意思が尊重される」という理念に基づき、希望する方に適切な支援を提供することであるとと考えております。</p> <p>また、出会い、結婚期のステージにおける支援は、理想のパートナーとの出会いや結婚を望む市民の希望を叶えるための個別の支援であると位置付けており、それ以降の個人の行動や判断に立ち入ろうとするものではありません。</p> <p>結婚等のパートナー探しは、個人の自由な意思に基づくものであり、個人の決定に特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることのないよう十分留意する必要があると考えております。</p> <p>婚活・結婚支援に対して不快な思いをされる方もいらっしゃると思いますので、事業の進め方について再度検討し、今後も、結婚支援を必要とする方に満足していただけるよう、事業を展開してまいりたいと考えております。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
12	<p>今後少子化は富士市においても重要な問題ではありますが若い世代が安心して子どもを持てるように職場の制度や働き方、経済的、家族の協力が様々な事が必要かと思えます。</p> <p>その中で婚活事業について子ども未来課で行われるのは違和感を感じます。</p>	<p>若い世代が家庭や子育てに夢を持ち、次代を担う子どもを、その希望に応じて安心して生み育てることができる環境づくりを社会全体で取り組むことが、本市の推進する少子化対策であると考えております。</p> <p>少子化に歯止めをかけるための取組の1つとして、出会い、結婚、妊娠、出産、子育ての各ステージにおいて、必要とする方に適切なタイミングで切れ目のない支援を政策的に行うことが大切であります。</p> <p>出会い、結婚期のステージにおける支援につきましては、富士市男女共同参画条例の理念の1つであります「男女が互いの理解の下で、妊娠、出産その他健康に関してそれぞれの意思が尊重される」という理念に基づき、希望する方に適切な支援を提供することであるとと考えております。</p> <p>また、出会い、結婚期のステージにおける支援は、理想のパートナーとの出会いや結婚を望む市民の希望を叶えるための個別の支援であると位置付けており、それ以降の個人の行動や判断に立ち入ろうとするものではありません。</p> <p>婚活・結婚支援に対して不快な思いをされる方もいらっしゃると思いますので、事業の進め方について再度検討し、今後も、結婚支援を必要とする方に満足していただけるよう、事業を展開してまいりたいと考えております。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
13	<p>全体的な感想として、民主主義の国では、子どもを産む・産まないは個人の自由な選択だと思えます。その個人の人權を尊重する考えのもとで少子化対策を考えてほしい。</p>	<p>結婚や出産等は、個人の自由な意思に基づくものであり、個人の決定に特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることのないよう十分留意し、事業を展開する必要があると考えております。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
14	<p>第5章に結婚に対する取組支援がありました。少子化対策として結婚支援事業を行うことには反対です。結婚と子を産み育てることを1つのつながりとして捉えることは、女性・男性の生き方について、個人の意思の尊重の点から問題があると思います。2020年11月定例会で小池義治市議の質問をたまたま知りましたが、小池市議の考えに同感です。このように、本当の意味で根本に人権の視点をもった市議がいることに感銘しました。</p>	<p>少子化に歯止めをかけるための取組の1つとして、出会い、結婚、妊娠、出産、子育ての各ステージにおいて、必要とする方に適切なタイミングで切れ目のない支援を政策的に行うことが大切であります。</p> <p>出会い、結婚期のステージにおける支援につきましては、富士市男女共同参画条例の理念の1つであります「男女が互いの理解の下で、妊娠、出産その他健康に関してそれぞれの意思が尊重される」という理念に基づき、希望する方に適切な支援を提供することであると考えております。</p> <p>また、出会い、結婚期のステージにおける支援は、理想のパートナーとの出会いや結婚を望む市民の希望を叶えるための個別の支援であると位置付けており、それ以降の個人の行動や判断に立ち入ろうとするものではありません。</p> <p>結婚等のパートナー探しは、個人の自由な意思に基づくものであり、個人の決定に特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることのないよう十分留意する必要があると考えております。</p> <p>婚活・結婚支援に対して不快な思いをされる方もいらっしゃると思いますので、事業の進め方について再度検討し、今後も、結婚支援を必要とする方に満足していただけるよう、事業を展開してまいりたいと考えております。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
15	<p>P55 「近隣市町合同による婚活イベントの開催」 市内の方が他市のパートナーと知り合い、転出をしてしまう可能性がある。他市のために開催する必要があるのか？</p>	<p>独身男女の出会いの場の提供を、広域的に展開することにより、結果として本市における婚姻数の増加が期待できると考えております。パートナーと出会った後、本市に住むことを選択していただけるよう、選ばれるまちの実現を目指して、本プランに基づき様々な取組を展開してまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
16	<p>P61「転入者に向けた保育園優先入所」 市内在住の入園希望者を大切にしてほしい。「とんびに油揚げさらわれた」と感じる</p>	<p>「第二期富士市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育所への入所については待機児童ゼロの継続を推進します。現行の受入体制を維持しつつ、転入後、本市の一員となる家庭についての支援を拡充してまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
17	<p>少子化対策は喫緊の課題であるのに、年間出生数の目標が現在の出生数と同じ1,600人を掲げていることに驚いた。難しい問題ではあるが、せめて今より上回る数の設定をしてやる気を見せてほしい。企業への働きかけも形にとられ過ぎているように感じた。待たなしの少子化問題に流暢なことは言ってもらえない。「認定」などの手続きをする前にどんどん企業に飛び込んで行って啓発を行うぐらいの意気込みがあってもいいと思う。</p>	<p>基本目標は、令和8年度における年間出生数を1,600人としております。出生数の目標値については、近年の出生数の減少状況や、少子化に影響を及ぼす社会的な要因などを総合的に鑑みて設定しております。市民や企業、子育て支援団体等がそれぞれの立場と役割に応じて子育て支援の担い手となるよう、活動啓発や意識啓発を行ってまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
18	<p>P53 思春期講座について</p> <p>現在行われている中学生対象の講座は、一回のみのイベント的なもので、他現行の学校のカリキュラムだけでは遅すぎる、少なすぎると感じています。(マンネリ化しているとも感じる。)</p> <p>講座ではなく、学校のカリキュラムに入れ、長い時間をかけて性の教育とともに、人権教育に取り組むことで、望まない妊娠や、DVが減るのではと思いました。</p>	<p>本市の学校教育における性に関する指導といたしましては、保健体育科等で心や体に関すること、道徳科、特別活動等で命の尊さや人間関係に関すること、家庭科等で将来設計に関することなど、複数の教科等において系統的、横断的に行っております。思春期講座につきましては、中学校等の関係機関と情報を共有し連携を図りながら推進してまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
19	<p>P37 女性の非正規雇用の割合が高い、管理職が少ないことについて</p> <p>地域で結婚や出産を通して働き続けることができなかった、子どもが大きくなってから再就職でワーキングプアの現状がありそうで、もっと詳しい富士版データがほしいと思いました。</p> <p>その上で、市内の女性が働きやすくワーキングプアにもなりにくい職場の紹介をしてほしいです。</p> <p>移住促進も良いですが、やはり、市外へ進学した子どもに帰ってきて地元のために働いてほしいので、案の中にもありましたがテレワークの推進(P80)、SNSでのPR(P81)や魅力的な雇用の創出(P38)、そして大学の誘致やテレワーク企業の誘致に力を入れてほしいです。</p> <p>富士市は産業のまちで理系企業が多いというのも、進学した女の子が働きたいところがなく戻ってこない理由のひとつと聞いたことがあるので、文系企業の誘致に特に力を入れてほしいです。</p> <p>また、P30の仕事と生活の関係の理想と現実のグラフ、男性と女性の違いがわかれば、施策の方向性がよりクリアになってくると思いました。</p>	<p>ご意見のありました各事業につきましては、本市の少子化対策において大切な取組であると考えます。本プランの施策の体系に基づき、取組を推進してまいります。</p> <p>また、「女性の再就職に関する富士版データ」と「男女別の仕事と生活の関係の理想と現実データ」につきましては、情報収集及び現状把握に努めてまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
20	<p>少子化対策庁内検討会議(P85)について</p> <p>先日の妊娠子育てネットワーク交流会にてお話のあったはぐくむFUJIオフィシャルサポーターの取り組みを、検討会議の中で庁内共有し、ぜひ課の枠を越えた横断的な取り組みにしていってほしいです。ふじ子育てほっとステーションのように、ロゴ付きで市内各地にのぼりやステッカーなどが貼ってある場所ができれば素敵だと思います。その際、P84にある各主体でマークが色分けされていたら、より分かりやすいと思いました。</p>	<p>はぐくむFUJIオフィシャルサポーター認定制度事業は、企業・団体などと官民協働により社会全体で子育てに温かい社会づくりを推進する仕組みであり、子育てしやすいまちの創造に寄与するものであると認識しております。公式のロゴマークを有効に活用し、市全体の子育て機運の醸成を図ってまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
21	<p>はぐくむFUJIオフィシャルサポーターについて</p> <p>オフィシャルサポーターになれない企業への、事業の改善や働きやすくなるための働きかけをぜひお願いします。そういう企業にこそセミナーを行ってほしいです。</p> <p>オフィシャルサポーター企業になることのメリットが、企業のPR(存在を知ってもらう、福祉的な取り組みをしている等)や売り上げ増だけでなく、これから大人になる子どもたちが就職したくなる、現実的にUターンの就職者が増えることであってほしいです。</p>	<p>本市といたしましても、はぐくむFUJIオフィシャルサポーター認定制度事業を通して、市内企業の魅力を発信し、少しでも多くの若者の市内企業等への就職につなげたいと考えております。ご意見につきましては、オフィシャルサポーター認定企業等と情報共有させていただきます。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
22	<p>若い人が通う大学の撤退が数年前にあったことは、富士市の総合的な発展と少子化対策、若い女性の流出問題に大きなマイナスの影響を与えたと思います。大学など高卒後の人が通える高等教育機関の設置、市内の空いたスペースを使ってITベンチャー産業の誘致などをして、若い人たちが集まって住めるような都市にすることが少子化対策になると考えます。</p>	<p>若者に選ばれるまちの実現に向けて、重点施策の1つとして、「若い世代のふるさと回帰、移住・定住支援」を推進してまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
23	<p>P57 富士市中小企業等奨学金返還支援補助金(人材アシストU-30) 富士市中小企業等修学資金貸与補助金(資格就職アシストU-30) 富士地区UJIターン促進事業 そのほか企業ガイダンスのような情報について</p> <p>おもに高校生とその保護者にたくさん周知してほしいです。</p> <p>特に、富士高、富士東高、富士見高校や星陵高校の特別進学コースなどに通う、進学して市外に出てしまう可能性がとても高い高校生とその保護者へは、こういった情報を知っていれば、就職の時期に地元も選択肢へ入る可能性が増えると思います。</p> <p>調べれば市のホームページからU-30に取り組む企業の情報も得られましたが、意思を持って探さないと見つからないので、高校の面談や総会など、確実に手元に来るような方法で情報があればいいなと思いました。</p> <p>経済的にもとても苦しいのは、高校生、大学生がいる世帯も多いと思います。結婚したばかりとか小さい子がいる世帯だけではなく、そこへの支援も強くお願いしたいです。この世代は、就職氷河期、バブル後の不景気のおおりに受けていて、それでいて結婚出産子育て初期に現在のような支援が少なく、再就職ワーキングプアの母親も多いです。生活保護になるような苦しさではありませんが、奨学金給付になるような世帯所得でもなく、税金だけはしっかり払って支援は受けられずな状況です。そんな中子どもが学生になりなんとか進学させたり、させられず悲しい思いをしたりしています。</p> <p>小中学校、高校のキャリア教育はイベント的でなので、高校のものは職種の紹介にプラスして、ワークライフバランス(富士市は特に女の子の進学率が高いとあったので)を意識した働き方ができる企業の一覧をもらえとか、さきほどのU-30の情報をもっとアピールしてほしいです。</p>	<p>高等学校を卒業後に都市部の大学等に進学した若者が、最終的には富士市に住むことの選択に繋がるよう、若い世代(特に女性)の市内定住・回帰を促す取組を本プランの重点施策としております。</p> <p>施策の柱である「結婚、妊娠・出産、子育てに関する情報発信」の取組として、ご意見のあった事業等につきましても、高等学校等の関係機関と連携を図りながら、効果的・継続的に情報発信を行ってまいります。</p> <p>また、子育て家庭の経済的負担の軽減に関する取組につきましては、子どもの年齢に応じた有効策について、引き続き検討してまいります。</p>	今後の参考にするもの
24	<p>●市街への流失・婚姻数低下</p> <p>富士市は気候や住みやすさから考えると他県他市から移住する方にとっても、生活用品もすぐに揃い、イベントや公園も多く、社会福祉や介護についてもとても他市より充実しており海と山の恵もある町なので、幼少期の子育て中やリタイア後の生活はとても生活しやすいと感じていますが、高校から先の学習施設や若者にとって魅力ある居場所や就職先の選択肢があまりない事により、一度市外に出た学生のユータン就職や生活少ないと感じます。</p> <p>子ども達にとっても魅力ある故郷であるように、市町の公共施設や居場所でのフリーWi-Fiの環境(ネット社会の為に、公共施設やまちせん・図書館・子育て関連施設などでも自由に使える場)が整備されると、より市民が市町の施設利用や、配信イベント・勉強会、サポートなどができるとでないでしょうか？(ウイズコロナ・アフターコロナ対策にもなりそうです)</p> <p>出会いの場やイベントが、市内にない。仕事が忙しく時間がない。女性の勤務先での、妊娠中のマタハラ問題や出産後の安心して復帰するサポートが不足している。勤務時間や体力的にも困難なケースも多い。女性が活躍できる職場や希望する働き方、収入減も考えると、結婚はしない。または、欲しいけど経済的・体力的(晩婚)に子どもは断念する夫婦も多いかと感じます。出産後、育休せずに一度職場を離れてしまい、幼稚園や保育園への進学を機に再就職しようとしてのかかなりの割合で、ママ達が希望する時間・賃金・内容での仕事が見つからない。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、施策の柱である「安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」及び「仕事と子育てを両立できる環境づくり」を推進する上での参考とさせていただきます。</p>	今後の参考にするもの

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
	産休中の託児付きの学びサポート再復帰するための、ママパパ目線の不安や生活改善講座育休取得の働きかけ外部講座(パパママ)などを内部や企業だけでなく、市民や市民団体と行政が協同しやすい委託事業などの窓口を広げ、専門家目線だけでなく市民・男女参画的な子育て目線のママやパパが企画する講座や勉強会を開催		
25	<p>●子育ての孤立化と負担・不安と自己肯定感アップへの仲間づくりとオリジナルワークライフバランス講座 子育て支援として、富士市は様々な親子で行ける・学べる環境なども多くあると感じますが、ママ達が互いに子どもから一時的に離れて、自己肯定感をあげる環境が少なく感じます。</p> <p>核家族化や転勤、移住、ひとり親や離婚の多い富士市。近年のママ達は、学歴も高く、一度は社会での経験が多い、SNS上でも子育て情報の多さも含み産後や子育て中の孤立感や、自分は何もできていない、必要ないなど自己否定が高い保護者も多くいます。検診以外での子育て仲間づくりの場の提供の必要性和、互いの生活やワークライフバランス・子育てのコツを学び合う場が必要と強く感じています。</p> <p>毎年団体で開催している、NP親支援講座(共に考え学び自己肯定感向上の仲間づくり・託児付き講座)に、より必要性を感じています。</p> <p>託児付きの学習会・講演会でママパパ共にか、ママやパパ別での提供も、企業だけでなく、市内で子育て応援する団体への委託事業などとして検討ください。</p> <p>結婚に対する意識については、中高生が自分たちの家庭を見ても、他の家族を見ても結婚や子育てに楽しさや、夢や希望を感じていない現状を変えていかないと、この先の結婚や妊娠・子育てにつながらない。</p> <p>思春期講座も素敵ですが、子育て支援活動を支える人材の確保と資質の向上で、子育て支援員研修を終えた支援員が多く富士市にはいます。子育て支援員や家庭教育支援員によるつながるシートなどを使った地域の子育て学習会や家族やシルバー世代との交流会なども必要(高齢化と孤独な子育てサポートも可能)を感じます。</p>	核家族化の進行やライフスタイルの多様化により、子育ての孤立化と負担感・不安感が増している状況につきましては認識しており、本プランにおいても社会的要因の1つとして記載したところであります。いただいたご意見につきましては、今後の少子化対策に関する取組立案の参考とさせていただきます。	今後の参考にするもの
26	<p>●子育て支援サークル応援サイトのへの最新版への変更と継続、はぐぐむFujiや子育て関連サイトとのリンク(より市民や必要な方が、情報をキャッチしやすい。)</p> <p>妊娠子育てネットワーク交流会との協働事業で構築した、子育てサークル・様々な子育て支援団体や医療・治療・産前産後のサポートや個人・企業などの70団体とのつながりを最新版にし、さらに市民や地域とつながりのネットワークを広げ、市町が発信する情報や内容を登録団体や市民が共有できる仕組みづくりをぜひ継続して、必要な方(子どもや、プレパパママ含み)へ届けるように構築して頂きたいです。情報の共有をよろしくお願ひします。</p> <p>子育てコンシェルジュの専任の方と先輩ママや子育て団体(同じ目線での)や子育て支援員とのサポートもあるとより近い身近になりそうです。</p> <p>はぐぐむFujiオフィシャルサポーターは企業と聞いていますが、市民団体や個人でも現在様々な活動で、より身近に子育て家族やママ応援をしています。</p> <p>今後、少子化対策の企業とのイベントも企画していると聞いてますので、ぜひすでにこどもフェスやイベントを開催している地域や市民団体との連携をとり互いに参加しやすい情報を共有していただきたいです。</p> <p>企業と市と、こどもやママパパ目線の市民団体や市の他部署との情報共有や共に開催できるといいですね。</p>	少子化対策を展開する上で、子育てに関する情報を市民の皆様へ発信することは、子育ての負担感や不安感の軽減につながるのと同時に、市民満足度の向上が期待できる重要な取組であると考えております。このことから、本プラン案では、「結婚、妊娠・出産、子育てに関する情報発信」を施策の柱としております。市や企業、地域などが行う少子化対策に関する取組を見える化し、より分かりやすく情報発信ができるよう努めてまいります。	今後の参考にするもの

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
	<p>富士市には、富士市が運営する様々な子育て支援へつながるウェブサイトや取組があります。これらすべてのリンクや発信を含み、まとめた発信を希望します。(あちこちの市のアプリやSNS、HPでの発信で、情報が散乱してしまい、分かりづらい。)</p> <p>より若者や子育て世代がコミュニケーションで利用するLINEアプリでのまとめた配信や案内も視野に入れていただけると、結婚・妊娠・出産・子育て・仕事に関する情報発信が受け取りやすいかと感じました。</p>		
27	<p>P72 「地域における様々な子育て支援サービスのレベルアップを図るため、子育て支援団体等へのグループワーク型の研修を行い、情報共有や意見交換、ネットワークの形成を支援します」←具体的な事業名の明記がない</p>	<p>ご意見の項目に係る目標を達成するため、具体的な取組内容について検討いたします。</p>	今後の参考にするもの
28	<p>昨年の3月、市内にCOVID19感染者がゼロの中、休校を強行された街、行政ぐるみでの「教育虐待」を継続したと言っても過言ではない街で、市民は子どもを産み育てたいと思うでしょうか。3月に休校を強行、延長された理由をはっきりしめず、もしくは謝罪をする必要があります。</p>	<p>本プラン(案)の内容に直接的に言及するものではありませんので、参考意見といたします。</p>	その他
29	<p>デジタル変革宣言と言いながら、「富士SDGsラボ」を遠隔で行わず会場で行い、堂々とマスコミ報道されている街、市内各専門職の会議を遠隔で行わず、書面開催で済ます街、そんな口先だけの行政で、子どもを産み育てていきたいと市民が思うでしょうか</p>	<p>本プラン(案)の内容に直接的に言及するものではありませんので、参考意見といたします。</p>	その他
30	<p>私は病児保育事業を始めて10年以上になります。当時は補助も乏しかった、赤字覚悟の時代です。そういった施設に対し、私が医師であるという理由で、市の子育て支援から締め出している状況が続いています。こういう民間の活動を馬鹿にしている、リスペクトしない地域で子育て支援の輪が広がるでしょうか。</p>	<p>病児・病後児保育事業の実施につきましては、平素からご尽力を賜り感謝申し上げます。特に、乳幼児の受入につきましては、本市において唯一の受入施設であり、子育て中のご家庭を支える上で、大きな存在であると考えております。</p> <p>当該事業の実施については大変な負担をお掛けしておりますが、本市の子育て支援のため、ひいては少子化の克服のため、今後とも是非ご協力をいただきますようお願いいたします。</p>	その他